



山形県の古木・名木 No.113

岩切不動の門スギ (いわきりふどうのもんすぎ)

長井市下伊佐沢

長井市役所の南南東、最上川の右岸下伊佐沢に2本のスギがそびえています。門柱のような2本のスギの間から上に向かって石段が伸びており、その上には祠と大きな足跡のある大石が祀られています。その昔、氾濫で作物が全く取れないこともたびたびで、村人は困り果てていましたが、お不動様が川の流れを遮っていた大岩を踏み割って村を救ってくれたことを感謝し、不動堂を建立、誰いとうとはなしに「岩切不動」と呼ぶようになったと伝えられています。

東のスギは幹周3.9m、高さ約28m。西のスギは幹周4.8m高さ約26mです。伊達輝宗(1544～1585)の頃、不動沢にあった不動尊を現在の場所に移したとの言い伝えがあり、その時に門スギとして植えられたのではないかとされていますが、樹齢は不明です。昭和53年2月に市指定天然記念物に指定されています。 [山形県森林協会]



[森林やまがた No.143号(2013年1月)掲載]

